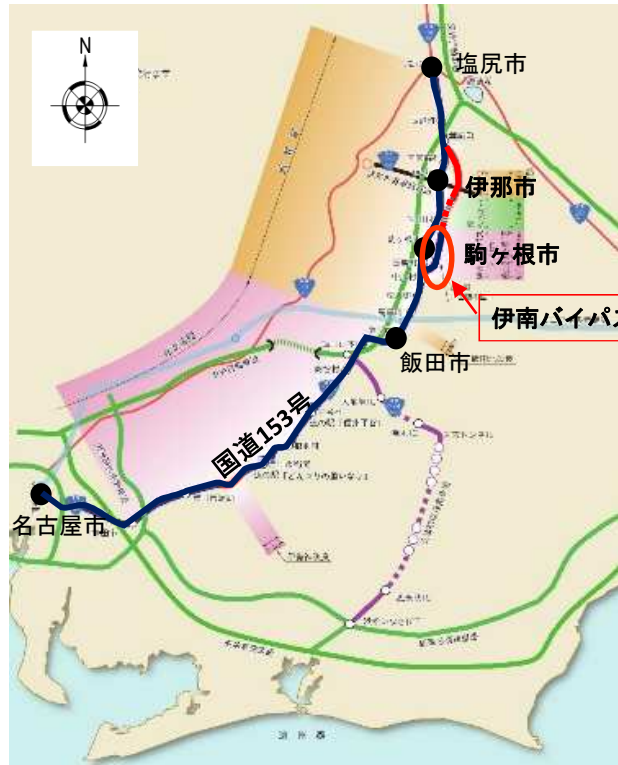


# 国道153号 伊南バイパス(上伊那郡飯島町本郷～駒ヶ根市赤穂)による整備効果

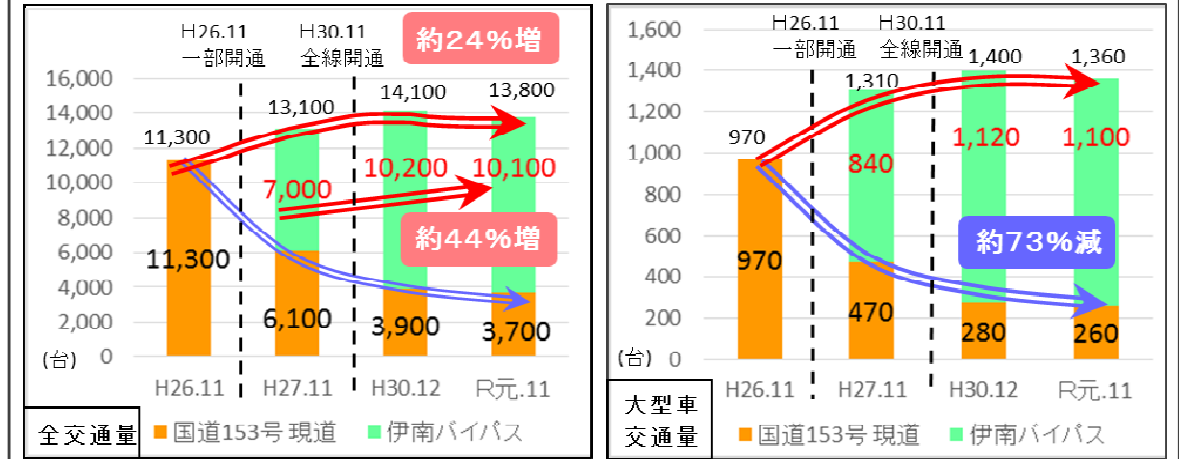
国道153号 伊南バイパスは、上伊那郡飯島町本郷から駒ヶ根市赤穂に至る延長9.2kmのバイパスで、国道153号現道の交通混雑の緩和、沿道環境の改善および交通安全の確保を目的に整備が進められ、平成30年11月17日に全線が開通しました。



国道153号 概要図

## バイパスと現道の交通量の変化

○バイパスと現道を合わせた全体交通量が約24%増加、バイパス交通量が約44%増加  
 一方で現道交通量は約67%減少  
 ○大型車の全体交通量が約15%増加、現道交通量が約73%減少  
 >>バイパス開通に伴い交通が分散、上伊那地域のアクセス向上が図られている

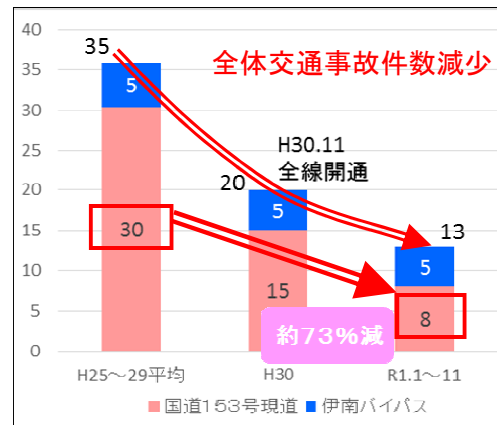


国道153号伊南バイパスと現道の交通量の変化(飯島町区間)

交通量調査データ 全線開通前: H26.11.26(7時~翌7時)・H27.11.18(7時~翌7時)  
 全線開通後: H30.12.18(7時~翌7時)・R元.11.19(7時~翌7時)

## 交通事故件数の減少

○バイパスと現道合わせた全交通事故件数が減少  
 ○特に現道の交通事故件数が開通前の平均に比べ約73%減  
 >>現道の線形不良区間の回避が可能となり、安全・安心が向上している



飯島町内の国道153号伊南バイパスと現道の物損および人身事故件数 ※速報値(R元.11.19時点)

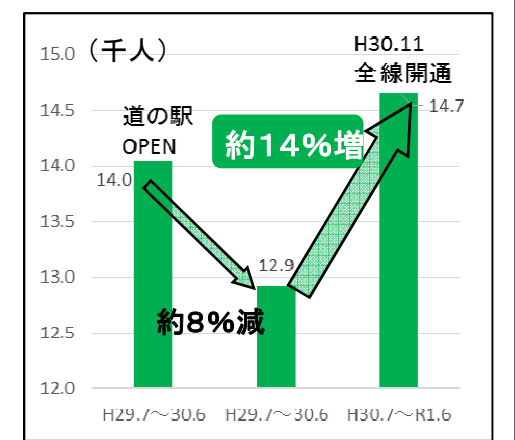


至松川  
国道153号現道(線形不良区間)

至松川  
全線開通後 伊南バイパス

## 沿線商業施設の増加・道の駅利用者の増加

○バイパス沿線に様々な商業施設が開店  
 ○道の駅OPEN翌年客数が減少。しかし全線開通によりOPEN当初よりも客数が増加  
 >>地域産業の活性化が期待される



道の駅田切の里 利用者数 ※速報値(R元.6時点)



コンビニ R元.7開店 道の駅 H28.7 OPEN